

平成24年 5 月 8 日

今治市教育委員会  
委員長 西原 透 様

菊間地区学校適正配置地元代表協議会  
会 長 松田 俊一

### 菊間地区学校適正配置地元代表協議会の意見書の提出について

菊間地区学校適正配置地元代表協議会は、「今治市学校適正配置基本方針」（平成22年2月策定）に基づき、菊間地区の小学校の適正配置を検討するために、平成22年7月に設置されました。これまでに6回の協議を経て、次のとおり協議会としての意見を取りまとめましたので、提出いたします。

#### 1 協議事項

「亀岡小学校、菊間小学校」の適正配置について

#### 2 協議会としての意見

亀岡小学校、菊間小学校の統合について、現段階では難しいと考える。しかし、将来更に少子化が進み、複式学級が予想されるなど、小学校の小規模化が進んだ場合には、両校の統合を再度検討する。

### 3 協議事項に対する考え方

当協議会では、「今治市学校適正配置基本方針」に示された、亀岡小学校と菊間小学校の適正配置について検討した。

全国的に少子化が進む中、当地区においても急速に少子化が進み、1学年10名以下の学年があるなど、学校が小規模化している。協議会では、亀岡、菊間両校区で保護者説明会を開くとともに、協議会での協議や、PTAでの話し合いなどを重ね意見を集約してきた。その中で主な意見として、将来更に学校が小規模化した場合の教育環境への影響は理解できるが、現段階で統合の必要性があるのか、遠距離通学の問題、小学校は、地域コミュニティの中心的役割を担っている、などが挙げられ、協議された。

また、亀岡地区の保育所、幼稚園および小学校の保護者を対象に、アンケートをとった結果、小学校の統合について賛成12%、反対61%、どちらでもない27%であった。アンケートでの主だった反対理由としては、小学校の統合は必要だと思うが、現在の児童数では統合の必要はない。通学に関し、子どもたちの安全に具体的な検証が必要である。地域と学校の関わり合いを重視して統合を考えるべきだ。などの意見が寄せられ、協議会で挙げられた意見を裏付けている。

当協議会としては、これまでの代表協議会、保護者説明会、アンケート結果などを踏まえ、小学校について、過小規模の小学校に、保護者は問題を感じているが、なお地域の社会活動の拠点である学校がなくなることや、遠距離通学への不安が、地域住民、保護者で強く、現段階（現在の学校規模）での統合は難しいと考える。ただ住民基本台帳等による将来推計から、複式学級が想定されるなど、更に小学校の小規模化が進んだ場合については、再度両校の統合を検討するという結論に達した。

### 4 再協議に向けての課題

- ・ 今後、各団体（学校等）で統合に向けて話し合う機会を持つなど、将来的な再協議に向けての引継ぎを検討する。
- ・ 将来、亀岡小学校及び菊間小学校の統合を再度検討する場合は、通学方法や、地域と学校の関わり合いなど懸案事項について、具体的な協議が進むよう、教育委員会からの提案を希望する。